

静岡県内市町の地域コミュニティ・協働事例

静岡市・「しずおか自治取組発表会」

中山間地域での住民による地域課題解決に向けた取組を学び合う！

静岡市は、市民団体の「里山くらしLABO」と協働し、「しずおか自治取組発表会」を「協働パイロット事業」として開催しました！

企画運営を担当した「里山くらしLABO」は、平成27年から活躍する中山間地の持続可能なコミュニティに向けた支援を行う市民団体です。

中山間地域の課題に向き合い、解決しようとする地域のみなさんの取組を学び合う会（「自慢大会」）が開催されましたので、その様子をお知らせします！

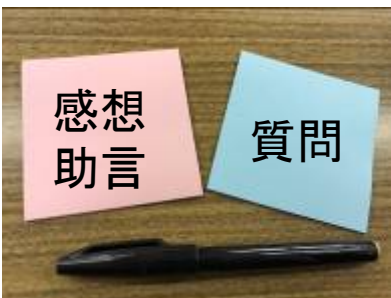


会場には地元の方や取組に関心のある方など、100人を超える人が集まりました！
会場は大変盛り上がりました！



発表内容は以下のとおり。このほかに、地域の将来を担っていく、高校生や市民団体（奥わらママ）のみなさんが発表しました！

- 清沢地区：自治活動の見直し
- 大川地区：「学童がない」を解消
- 梅が島地区：自治会役員に女性を
- 玉川地区：高齢者への配食
- 両河内地区：バスの自主運行



机には、ピンクと青の付箋が置いてあり、事例発表が終わると、「感想・助言」、「質問」を書いて事例ごとに集めます。



「多くの方が知りたいこと」を知ることができますね！



里山くらしLABOが、多くの方が付箋に書いた「知りたいこと」を発表者に聞いて、深掘します。みなさん、とても熱心に聞いていました！

編集後記

「自慢大会」は、いま、全国で開かれています。県内でも少しずつ増えてきていますが、「学び合う」重要性を感じることができました。是非、みなさんの地域でも真似してみてください！